

# 研修部だより

令和7年7月発行



TEL 0248-42-4114

FAX 0248-44-4553

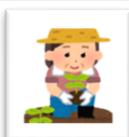
E-mail noutan.kensyuu@pref.fukushima.lg.jp

令和7年度がスタートし、3か月が経過しました。

その間、研修部では、就農研修、農業機械研修、農産加工研修、それぞれ活気に満ちた研修が実施されています！

今回は4～6月までの様子をトピックスで紹介します。

## 就農研修



- ・就農研修(初級)～農「業」を始めたいなら、まずはこれを受講しよう～
- ・就農研修(中級)～水田、野菜、花き、畜産、有機農業などの中から選んで勉強します～
- ・長期就農研修～アグリカレッジ福島で、就農の夢を実現しよう～

## 農業機械研修



- ・農業機械研修 安全運転技術総合コース ～けん引操作(農耕車限定)研修～
- ・農業機械研修 技術向上コース ～初めての刈払機研修～
- ・農業機械研修 現地で学ぶ農作業安全

## 農産加工研修



- ・農産加工研修 基礎コース(春)～夢を実現しよう！～
- ・農産加工研修 食品素材活用コース(トマト①)～超贅沢な濃縮トマトを味わう～

気になる研修がありましたら、まずは農業短期大学校（アグリカレッジ福島）のホームページをCHECK！気軽にお問い合わせください。



アグリカレッジ福島の今をInstagramで発信中！

研修部でデキル 



## 就農研修（初級）

～農「業」を始めたいなら、  
まずはこれを受講しましょう～

就農研修（初級）は、将来は就農したい、または就農を考えている人向けの研修です。就農とは農業を始めることを言いますが、農「業」、つまり業として行うとはどういうことか、農業を始めるためにはどんなことを考える必要があるのかを全5回かけて学びます。

アグリカレッジ福島の敷地内で、春コース（5月10日～7月26日）はスイートコーンやエダマメ、秋コース（9月3日～11月14日）はハウレンソウやハクサイのは種（定植）～収穫の体験をとおり、農業の基本や楽しさ、奥深さを体感します。

自分がやりたいと考えていたことは「就農」なのか「家庭菜園」なのか、この研修をとおり一緒に考えてみませんか？

秋コースの募集期間は7月1日～8月4日です。皆様からの応募、お待ちしております。



### 春コース（5～7月開講）の様子です



エダマメの移植



農作業安全



講義（グループディスカッション）



講義（鈴木光一先生）



## 就農研修（中級）

～水田、野菜、果樹、花き、畜産、  
有機農業などの中から選んで勉強します～

就農研修（中級）は、県内への新規就農者又はこれから県内への新規就農を目指す方が、農業で生計を立てるために必要な栽培技術等の専門知識の習得を目指す研修です。

今年度の研修期間は5月14日～8月27日で、各選択科目の他、必修科目（開業・農地・税務等、病害虫防除及び農薬の基礎、土壌肥料、スマート農業等）を受講します。

令和8年度の日程及び内容は、令和8年3月上旬に当校HPにて公開予定です。

改めて学び直したい方も含め、皆様からのお問い合わせや応募を幅広くお待ちしております。



中級コース（5～8月開講）の様子です



水田



野菜



果樹



花き



## 長期就農研修 ～アグリカレッジ福島で、 就農の夢を実現しよう～

長期就農研修は、県内で農業を始めたい方が円滑に就農できるよう、約1年間かけて、栽培技術及び経営管理について、研修生が主体的に学ぶ研修です。

このような研修機関は県内に100か所以上ありますが、当校の最大の魅力は、野菜・花を研修する場合は、当校のハウス等を活用し自分が好きな品目を、自由に栽培管理することができます。

研修生は実際に手を動かし、多くの試行錯誤を重ねることで、「自ら考える力」や「改善する力」を養うことができます。

今年度のアグリカレッジ福島の長期就農研修生は7名で、4月から研修を開始しています。研修生からは逆算して動くことの大切や病害虫防除のタイミングの難しさなど、多くの気づきや改善案が早くも報告され、研修生自らが計画的に実践する本研修の効果を確認することができました。

長期就農研修生の奮闘記は、「アグリカレッジ福島長期就農研修 Newsletter」で御紹介しています。こちらは、アグリカレッジ福島 HP 内で公開しているので、ぜひ御覧ください。

また、令和8年度長期就農研修生の募集期間は、令和7年12月1日～令和8年1月20日の予定です。

なお、施設等の見学も随時対応しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。



長期就農研修コース（4月～翌年3月開講）の様子です



校長あいさつ



ネギ定植指導の様子



研修進捗状況報告会



学生と一緒に乾田直播を学ぶ様子



## 農業機械研修 安全運転技術総合コース ～けん引操作（農耕車限定）研修～

第1回5月27～29日（原則3日間参加）から第4回6月24～26日まで、アグリカレッジ福島の敷地内にある運転練習コースで、農耕車限定のけん引免許取得を目指している認定農業者や県内で農業に従事している方を対象に、短大職員が指導しました。

本研修での実技内容は、トラクタにトレーラを装着しS字走行や車庫入れ等の練習、座学内容は受験会場である福島運転免許センターの3つの検定コースの説明等安全知識を学びました。

受講者からは「実践的でわかりやすかった」といった声が寄せられています。

今後のスケジュールは第5回（9月30～10月2日）、第6回（10月7～9日）で、申し込み期間8月1～14日となっております。皆様のご参加お待ちしております！



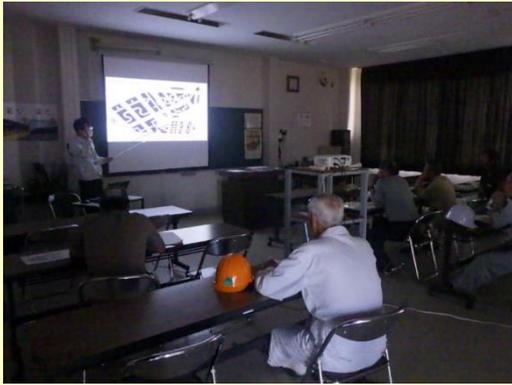
けん引操作（農耕車限定）（5～6月開講）の様子です



S字走行の練習



車庫入れの練習



福島運転免許センター検定コースの説明



## 農業機械研修 技術向上コース ～初めての刈払機研修～

令和7年5月13日にアグリカレッジ福島敷地内で、初めて刈払機を使用する認定農業者や県内で農業に従事されている方を対象に実施しました。

本研修では、農作業事故を未然に防ぐための基本的な安全知識を学ながら、刈払機の安全な取り扱い方法、点検整備の基礎を習得します。

座学内容は、農作業の事故事例、安全対策等、実技内容は刈払機の整備点検、保護具の装着、正しい刈取姿勢などです。

受講者からは「刈払機の正しい取り扱い方がわかった」といった声が寄せられています。次回は8月21日に第2回（申込期間7月1～10日）が開催予定です。



初めての刈払機（5月13日開講）の様子です



刈払機の整備点検



刈払作業の準備



## 農業機械研修 現地で学ぶ農作業安全

農作業事故を未然に防止するために、要望に応じて、現地やアグリカレッジ福島敷地内において、研修部職員が日々の農作業安全についての講習を行います。

農作業安全についての座学のほか、刈払機の安全な操作や点検整備などの実演指導を行っています。

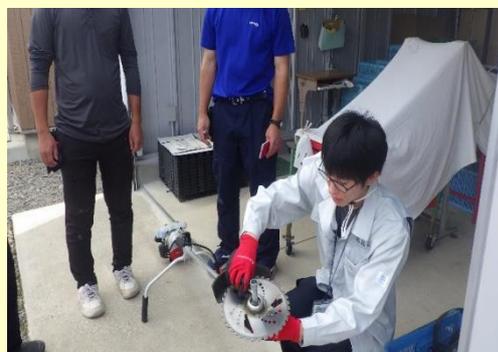
講習の依頼は、随時受け付けております（要相談）。



### 現地支援研修の様子です



講義の様子



刈払い機点検整備



刈払機の安全な操作の実演



刈払機の点検整備



## 農産加工研修 基礎コース（春） ～夢を実現しよう！～

令和7年5月15日～6月18日にかけて、4回の講座が開催されました。加工に取り組むにあたっての食品衛生や関連する法令等、食品の殺菌方法、優良事例や加工所運営に関するSWOT分析、そして、実際の加工実習と盛り沢山の研修でした。

研修の中で、実際に加工された食品の試食をとおして、加熱・殺菌の重要性を理解し、さらに、実習でその工程の必要性や温度・時間の管理について理解を深めました。

受講生の中にはこれから開業する方、開業開始間もない方がおり、「今後の営業に向けて不安が大きくなったが、注意すべきことが理解できた」といった声が寄せられました。

農産加工基礎コースは、春と秋の2回開講します。秋コースの申込期間は、7月1日～8月4日まで。基礎コースでは、営業に向け必要となる知識と技術が学べます。6次化に取り組みたい！その夢を実現しませんか？



### 基礎コース春（5～6月開講）の様子です



第1回目食品衛生の講義



第2回目凍結法違いの豆腐の試食



第3回目いちごジャムとゼリー加工



第4回目優良事例と加工所経営のWS



## 農産加工研修 食品素材活用コース（トマト①） ～超贅沢な濃縮トマトを味わう～

令和7年6月27日、県産農産物を素材としてをテーマにトマトの加工研修を開催しました。本県は、夏野菜の産地でもあり、特にきゅうり、トマトはその代表選手！

ですが、トマトを栽培しているけど、どのように活用したら良いのかわからないという声が多いのです。今回の研修では、JAS規格のトマトを理解し、通風乾燥と焼成乾燥でのドライトマトの試食比較、JAS規格に沿ったトマトピューレーの加工、トマトピューレーから醤油をベースにした和風ジュレの加工を行いました。

糖度12°まで濃縮したピューレーは、家庭ではなかなかできないものなので、それを使った和風ジュレはトマトの濃厚なコクと旨味が広がり、「今日は焼肉！」という声があがりました。

また、事前に濃縮しておいたペーストを味見した受講生からは、「旨味しかない」「濃厚！」といった感嘆の声。トマトコースは11月7日にトマト②を開催します。申込期間は、9月1～10日です。トマト①に参加されなかった方も申込可能です。トマト②では、トマトピューレーからトマトケチャップとトマトソース加工し、トマトソースを使った米粉ピザを作る予定です。



### 食品素材活用コーストマト①の様子です



野菜経営学科が栽培した農短トマト



パルパーフィッシャーの威力に驚！



真空包装機に興味深々



左から和風ジュレ・トマトピューレー  
・焼きドライトマト



## 気になる！？ 農業短大新施設 アグリ探求棟

～土日祝日は、一般の方も利用可能です～

アグリ探求棟は、令和7年4月から供用を開始した新施設の一つです。アグリ探求棟内の「クリエイティブホール」、「ゼミ室A」、「ゼミ室B」の3施設をお貸ししています。この施設は、基本的な映像・音響設備を備えており、研修や会議、打ち合わせなど各種イベントにご利用いただけます。

施設利用料等、詳しくは農業短期大学のホームページをご確認ください。



新施設の正面からの外観（右側がアグリ探求棟、  
左側は屋外作業準備棟）

撮影 ToLoLo studio

### ◆クリエイティブホールの活用例

撮影 ToLoLo studio



150名規模の研修会や正面にはトラクター等を展示できるスペースがあります。使い方は自由自在。壁面にプロジェクター投影が可能です。

### ◆ゼミ室Aの活用例

### ◆ゼミ室Bの活用例

撮影 ToLoLo studio

